

# 第32回関西障がい学生支援担当者懇談会（2024年2月29日開催）

## 【アンケート集計結果】

1～4はKSSK開催前の申込時にアンケートを実施（出席人数65名※うち分科会出席者63名）、5～10はKSSK開催後にアンケートを実施（回答人数41名※回収率63.1%）

### 1-1 所属大学

大学コンソーシアム京都加盟大学

大学名	人数
京都大学	3
大谷大学	4
京都外国語大学・京都外国語短期大学	2
京都華頂大学・華頂短期大学	1
京都女子大学	1
京都精華大学	3
京都先端科学大学	1
京都橘大学	5
京都ノートルダム女子大学	1
京都文教大学	1
京都文教短期大学	1
同志社大学	5
同志社女子大学	1
佛教大学	2
合計	31

大学コンソーシアム京都非加盟大学

大学名	人数
長浜バイオ大学	1
大阪大学	2
大阪公立大学	3
桃山学院大学	3
阪南大学	1
四天王寺大学	1
大阪産業大学	1
大阪人間科学大学	1
大阪観光大学	1
常磐会学園大学・常磐会短期大学	2
摂南大学	2
大阪学院大学	2
大阪経済大学	1
大阪国際大学	1
神戸大学	2
関西学院大学	2
神戸松蔭女子学院大学	2
武庫川女子大学	1
神戸女子大学・神戸女子短期大学	1
神戸学院大学	1
帝塚山大学	1
奈良学園大学	1
合計	33

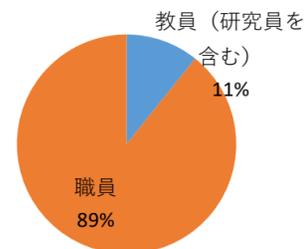
その他

その他	人数
全国大学生生活協同組合連合会	1
合計	1

### 1-2 区分

No	選択肢	人数	%
1	教員（研究員を含む）	7	10.8
2	職員	58	89.2
合計		65	100.0

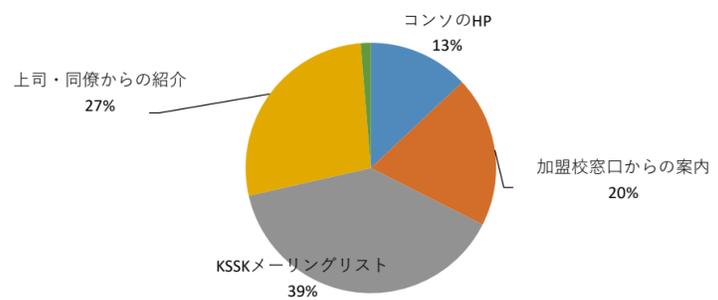
### 1-2 区分



### 2. 今回の講座をどこで（何で）知りましたか？（複数回答可）

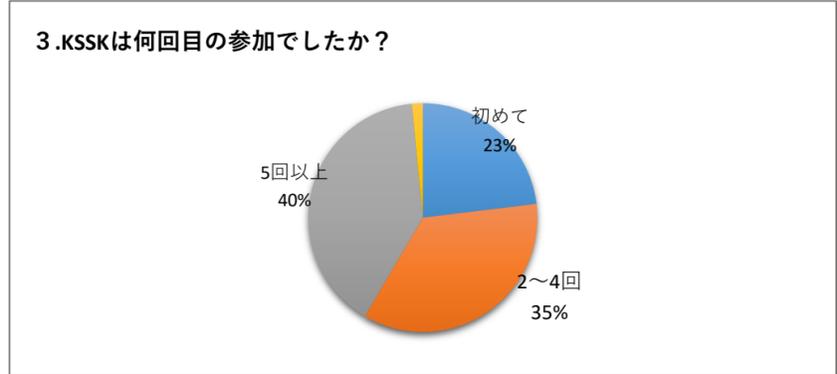
No	選択肢	人数	%
1	大学コンソーシアム京都のホームページ	10	13.0
2	加盟校窓口担当者からの案内	15	19.5
3	KSSKメーリングリスト	30	39.0
4	上司・同僚からの紹介	21	27.3
5	知り合いからの紹介		0.0
6	その他	1	1.3
合計		77	100.0

### 2. 今回の講座をどこで（何で）知りましたか？



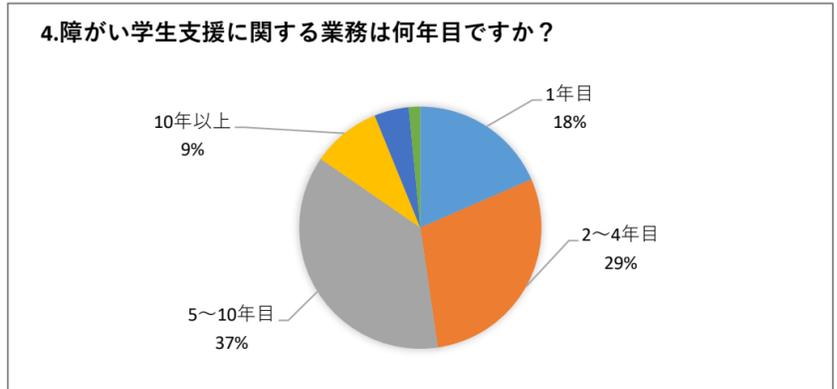
3. KSSKは何回目の参加でしたか？

No	選択肢	人数	%
1	初めて	15	23.1
2	2～4回	23	35.4
3	5回以上	26	40.0
4	無回答	1	1.5
合計		65	100.0



4. 障がい学生支援に関する業務経験は何年目ですか？

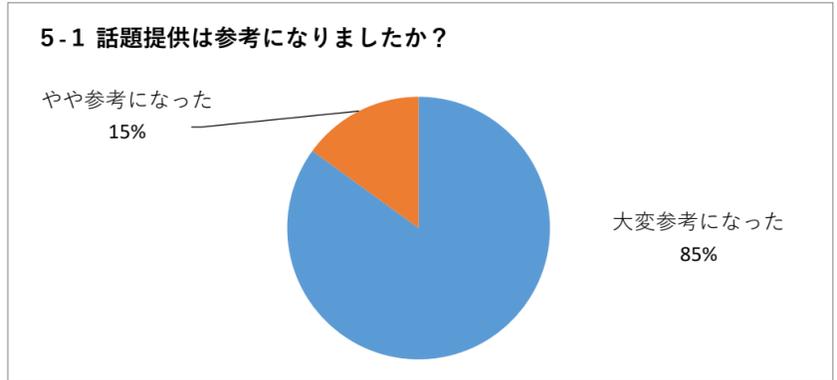
No	選択肢	人数	%
1	1年目	12	18.5
2	2～4年	19	29.2
3	5～10年未満	24	36.9
4	10年以上	6	9.2
5	経験なし	3	4.6
6	無回答	1	1.5
合計		65	100.0



5. 話題提供について

5-1 話題提供は参考になりましたか？

No	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	34	85.0
2	やや参考になった	6	15.0
3	どちらでもない	0	0.0
4	あまり参考にならなかった	0	0.0
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
合計		40	100.0



5-2 上記5-1の回答を選択された理由をご記入ください。（記述内容一部抜粋）

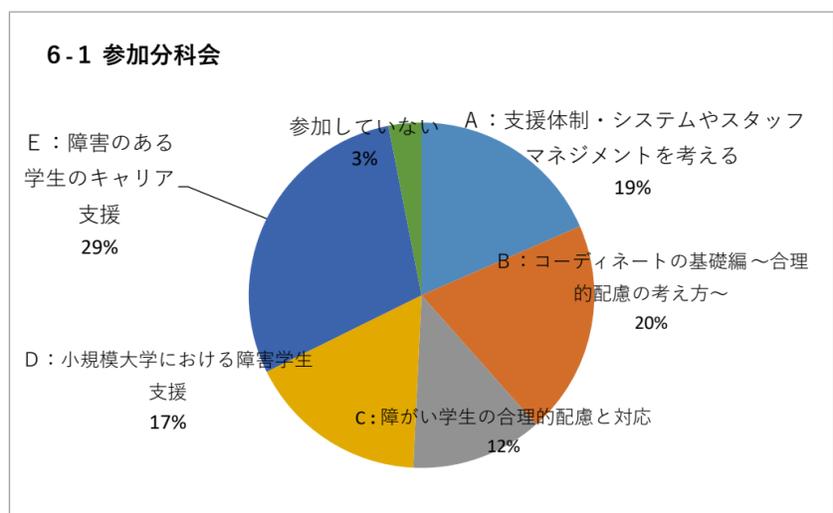
No	回答内容	理由
1	大変参考になった	3次まとめを待ち望んでいたため
2	大変参考になった	4月以降の対応に向けて、貴重な情報収集の機会となったため。
3	大変参考になった	今一度差別解消法について詳しく知ることができた。根拠資料の考え方についても、理解できていなかったことを検討し直すよい機会となりました。
4	大変参考になった	文科省の対応指針と3次まとめを両輪で考えていくことや改正点をわかりやすくご説明いただいたため
5	やや参考になった	大学等における障害学生の実態や第3次まとめに関するお話を聞くことができたため。
6	大変参考になった	障害学生支援の変遷や今後について深く知ることができたから
7	大変参考になった	大学としてやらなければならないことの整理ができました
8	大変参考になった	大学で障害学生支援のコーディネーターを初めてまだ2か月ですが参加させていただきました。文科省の小栗さまのお話では、障害学生支援の全体感や抑えるべきポイントについて教えていただき、大学全体としてどのようなマインドで取り組まなければいけないことなのかについて詳細に教えていただき大変参考になりました。
9	大変参考になった	第三次まとめ、読もうと思いつつ、確認できてなかったから
10	大変参考になった	3次まとめについて聞くことができたため。
11	参加していない	<p>私立大学「等」の民間事業者には、大学生協など大学等のキャンパス内に存在する団体等も含まれます。今回の小栗様や村田先生のお話（「高等教育段階での障害のある学生支援について」）は、大学関係者のみならず、障害のあるすべての学生の生活と接する方々にとっても重要なテーマであると思っているからです。そうした問題意識より、全国大学生協連では、村田先生らにご協力いただき、現役学生を交えて以下の「障害学生支援&amp;学生相談に関する座談会」を企画・実施しました。今回提供いただいた話題は、すべての学生たち自身や大学生協の役員らにも、大いに関係する重要なテーマであると確信しているからです。（<a href="https://www.univcoop.or.jp/activity/kyosai/kyosai_interview01.html">https://www.univcoop.or.jp/activity/kyosai/kyosai_interview01.html</a>）</p> <p>小栗様のお話は、すべての大学生協関係者にも届けたい内容でした。また、以下がその根底にあることを知って、竹田先生、村田先生ら委員の皆様のご苦労も含めて敬意を表します。（<a href="https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/123/giji_list/index.htm">https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/123/giji_list/index.htm</a>）</p> <p>文科省HP掲載の以下などとの連携・接続も重要だと感じました。障害のあるすべての学生は「いきなり」高等教育機関に在籍するわけではありませんので、彼ら彼女らの生活の変化の節目での移行支援は極めて重要だと思っているからです。  <a href="https://www.mext.go.jp/content/20200908-mxt_tokubetu02-000009403_03-2.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20200908-mxt_tokubetu02-000009403_03-2.pdf</a>                      以下もご参考まで。何かのお役に立てば幸いです。  <a href="https://www.univcoop.or.jp/about/campus_life/vol73.html">https://www.univcoop.or.jp/about/campus_life/vol73.html</a>  <a href="https://www.univcoop.or.jp/parents/kyosai/kyosai73.html">https://www.univcoop.or.jp/parents/kyosai/kyosai73.html</a>  <a href="https://www.univcoop.or.jp/about/life/vol56-01.html">https://www.univcoop.or.jp/about/life/vol56-01.html</a>  <a href="https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsis/2017/637/2017_637_179/_pdf">https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsis/2017/637/2017_637_179/_pdf</a></p>

12	やや参考になった	知らなかった情報を得ることができた
13	大変参考になった	第3次まとめのことにについて少しでも聞けたため
14	大変参考になった	障害学生支援の状況を確認出来た点
15	大変参考になった	全大会では国の方針などを知ることができたので
16	大変参考になった	小栗課長補佐と直に話ができただけ
17	大変参考になった	障害学生支援の制度的なお話を伺うことができたため。
18	大変参考になった	あまり会えない方にお会いでき、さらにご苦労や裏話がうかがえたため
19	大変参考になった	他大学の動向を知り得たため。
20	大変参考になった	文部科学省のご担当の方から対面でお話を伺う貴重な機会であったから。
21	大変参考になった	最新の状況を現場の方からお聞きすることができたため。
22	やや参考になった	第三次まとめについての情報を得られました。情報公開を待ちたいと思います。
23	大変参考になった	第3次とりまとめについて、理解していなかったため。
24	大変参考になった	第3次まとめをとおして、最新の情報を得られたから。質疑応答もあってよかった。
25	大変参考になった	体制構築の指標としている第三次まとめの最新状況を知ることができたため
26	大変参考になった	4月からの私立大学における合理的配慮の義務化に向けて取り組むべきことや支援の着眼点を再確認する機会となりました。学期中は毎日の業務をこなすことで精一杯になっているため、この時期に少し立ち止まって考える時間を取りたいと思います。
27	大変参考になった	「義務化」に備えて、最新の動向と各大学の認識を知る事が出来たこと、また直面する学内課題についても意見・情報交換できたこと
28	大変参考になった	障害の社会モデルを理解していない大学関係者が多いことを知ったこと。大学経営者等に社会モデルを説明する必要があることを感じた。
29	大変参考になった	文部科学省における障害学生支援の取組状況がとてもよくわかりました。
30	大変参考になった	現状の国の動きを知ることができた
31	大変参考になった	障害学生支援に関する詳細なデータや第5次基本計画について示していただき、非常に興味深いお話が多く聞けたため
32	大変参考になった	第三次まとめの内容を分かりやすく提示して下さったので、現状と今後の課題をよく理解できました。
33	やや参考になった	最新の情報をまとめて講義いただき、参考になりました。
34	やや参考になった	法律関係の内容が難しい部分もありましたが、質疑応答が参考になりました。

## 6. 分科会について

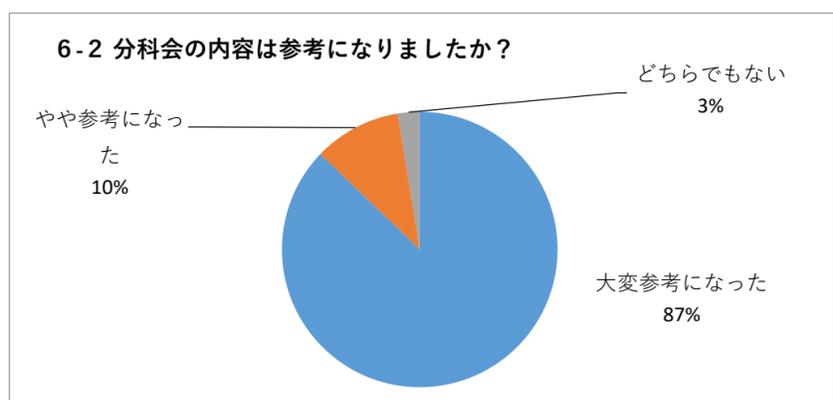
### 6-1 参加分科会（受付名簿より算出）

No	選択肢	人数	%
1	A：支援体制・システムやスタッフマネジメントを考える	12	18.5
2	B：コーディネートの基礎編～合理的配慮の考え方～	13	20.0
3	C：コーディネートの応用編－コーディネート業務経験概ね3年以上－	8	12.3
4	D：小規模大学における障害学生支援	11	16.9
5	E：障害のある学生のキャリア支援	19	29.2
6	参加していない	2	3.1
	合計	65	100.0



### 6-2 分科会の内容は参考になりましたか？

No	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	34	87.2
2	やや参考になった	4	10.3
3	どちらでもない	1	2.6
4	あまり参考にならなかった	0	0.0
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
	合計	39	100.0



### 6-3 上記6-2の回答を選択された理由をご記入ください。

#### ◆『A：支援体制・システムやスタッフマネジメントを考える』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	各大学の支援フローを知ることができたこと。また、本学と似たような取りを行っていたとしても、それを大学の制度としてしっかりと構築されている大学様のお話を伺えたこと。
2	大変参考になった	他大学の知見を得ることができたため
3	大変参考になった	多くの意見交換ができたため
4	大変参考になった	改めて各大学が、それぞれに合ったシステムを築いていることが分かり、また一方で取り組み方のアイデアを頂きました。
5	大変参考になった	事務職員の方より多くの事例をいただき課題を共有（共感）できたため

◆『B：コーディネートの基礎編～合理的配慮の考え方～』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	同じ2年目の方々ということで、気兼ねなく話すことができました。自身の中で、問題視していなかったことも問題になりうるということがわかり、新年度を迎えるにあたり、学内で検討すべき項目が新たに抽出できて良かったです。
2	大変参考になった	2回目の大規模校でのグループワークで他大学さまの取り組みを聞かせていただき大変参考になりました。細かな実施方法や役割分担、日々の動きなどをお伺いする中で、本学がどのポイントを工夫していくとよいかヒントとなることがたくさんありました。
3	大変参考になった	他大学で実際にどう学生と向き合っているかを、聞くことができてよかったです。
4	大変参考になった	他大学の実際について知ることができ、悩んでいた考え方について助言をいただけたので
5	大変参考になった	他大学の事例を聞いて、非常に勉強になりました。また、名刺交換で他大学とつながりができて良かったです。

◆『C：コーディネートの応用編－コーディネート業務経験概ね3年以上－』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	各大学の支援体制や取組・課題について活発な意見交換ができたため。
2	大変参考になった	●重度訪問介護利用者等大学等修学支援について、事例を共有できたため。
3	大変参考になった	各大学様の規模や学生の状況により支援体制が異なる中で、現状の課題・取組をお聞かせいただき今後にかすことができるため。
4	大変参考になった	他大学の状況をリアルに感じられたため
5	大変参考になった	参加者の課題に対して、各大学から対応事例や工夫点が共有されたから。

◆『D：小規模大学における障害学生支援』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	違う職種の方々とディスカッションができた。他大学の取り組みが参考になった。
2	大変参考になった	小規模ならではの現状や、工夫などが知れたのがありがたかったです。会の後に司会者からお声かけいただき、翌日連絡をいただくなど、分科会内での対応も丁寧でしたが、事後も丁寧に対応いただけて、学びが大きかったからです。
3	大変参考になった	本学が直面する課題（モニタリング実施、規程整備等）について意見交換できたこと、貴重な情報を得たこと、その他様々な情報交換ができたこと。
4	大変参考になった	権限を持つことの重要性。この教職員が言っているからやる必要があると思われるようになりたいと思った。
5	大変参考になった	各大学の体制や工夫をざっくばらんな雰囲気でお聞きすることができ、とても参考になりました。進行をしてくださった村田先生と長ヶ原先生にも感謝します。
6	大変参考になった	自分の大学のうまくいっていないと感じているところを含め、現状を共有できたことで気持ちが楽になりました。また、他大学の取り組みを聞き、自分の大学でも取り入れたり、少しでも改善できないか考える機会になりました。

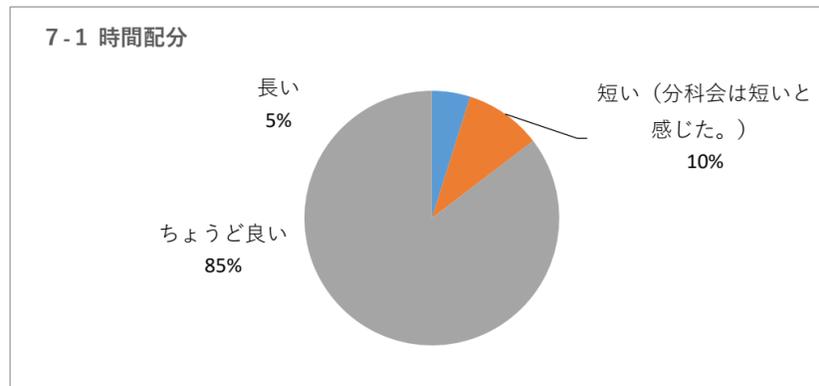
◆『E：障害のある学生のキャリア支援』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	各大学様との意見交換を通じて、今後も情報交換できる関係ができたため。
2	大変参考になった	エンカレッジの家カレの紹介を聞き、障害学生のキャリア教育には企業との連携がとても効果的であると再認識したため。また、他大学とキャリア支援の組織体制や各部署間の連携の難しさを共有し、また、円滑な連携支援に向けた具体的な取り組みについて知ることができたため。
3	大変参考になった	普段あまり話す機会がない職種の方とお話できたから。
4	大変参考になった	なんとなくわかっているの「なんとなく」の部分が整理できました
5	大変参考になった	エンカレッジ様のイベントを知ることができた
6	大変参考になった	各大学の取り組み、情報交換ができたので
7	どちらでもない	就労支援を担っていない担当者が参加されており、議論が盛り上がりなかったため
8	大変参考になった	他大学の動向を知り得た為。
9	大変参考になった	各大学の方がたと情報共有を、検討する貴重な機会となったため。大学によって異なること、共通することを日常から離れて確認できることは、すごく役に立ちます。
10	大変参考になった	前半の講演では就労移行事業所の取り組み・サービスについて具体的に知ることができました。資料内でも多くの情報を提供していただいたので、今後活用していきたいと思います。後半のグループディスカッションでは、個々の大学が抱える問題をお聞きし、全く同じ状況ではないですが、自大学であればどのような対応ができるかを考えるきっかけになりました。
11	大変参考になった	エンカレッジさんの取組や他大学の取組について理解を深めることができたので。

7. 懇談会全体について

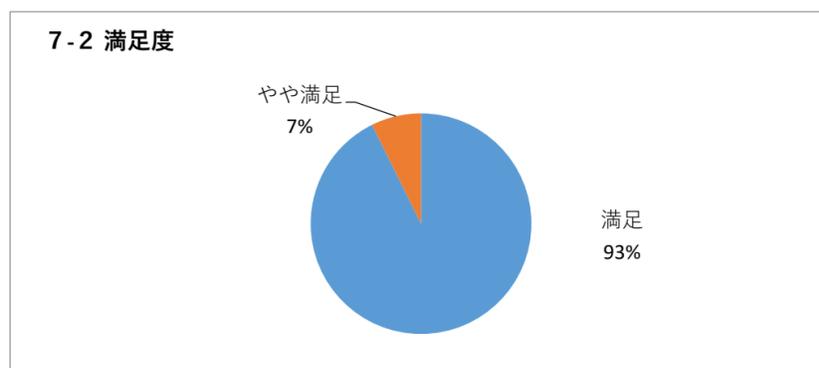
7-1 時間配分

No	選択肢	人数	%
1	長い	2	4.9
2	短い（分科会は短いと感じた。）	4	9.8
3	ちょうど良い	35	85.4
4	その他	0	0.0
5	無回答	0	0.0
合計		41	100.0



7-2 満足度

No	選択肢	人数	%
1	満足	38	92.7
2	やや満足	3	7.3
3	どちらでもない	0	0.0
4	やや不満	0	0.0
5	不満	0	0.0
合計		41	100.0



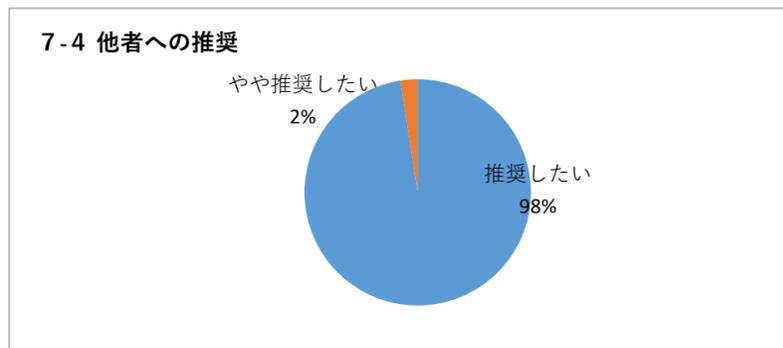
7-3 上記7-2の回答を選択された理由をご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	満足	担当者を知り合いになれる
2	満足	共通の課題をかかえる担当者が集まり、有意義な意見交換会ができるため。
3	満足	今回は、特に文科省の方が来られて話を伺えたことで、とても理解が深まりました。学内の他部署のメンバーにも参加の声かけをすればよかったと後悔しています。
4	満足	話題提供においては日々の支援において関心の高いテーマを取り扱っていただいたため。また、セミクローズの懇談会というスタイルだからこそ共有できる他大学の悩みや課題、具体的な取り組みがとてもさんこうになったため。
5	満足	全体会・分科会Cともに充実した内容であったため。
6	満足	いつも多くの情報交換をさせていただいております。ありがとうございます。
7	満足	他大学さまの取り組みを直接お伺いできる機会はなかなかないので、とてもありがたかったです。
8	満足	他大学の具体的な状況（事例やシステム等）を直接話すことができるため。
9	満足	他大学の知見を得ることができたため
10	満足	得るものが多かった
11	満足	創設時から堅苦しくなく、各大学の悩みを情報共有し、アドバイスするギブアンドギブの姿勢があるため
12	やや満足	人数の多い分科会に初めて参加したが、少人数制の方が議論できるように感じられたため
13	満足	近隣の大学様をはじめ、関係機関との連携をはかることができるため。
14	満足	横のつながりが強化され、自身の活力になっているように思う
15	やや満足	分科会の座席が不便でした。
16	満足	話題提供に同じ
17	満足	他大学の情報を得る機会が少ないため、ありがたいです。
18	満足	改正法施行を前に適切な話題提供であり、分科会となったから。
19	満足	いわゆる専門職と事務系職員の方々とのつながりをもつことができたため
20	満足	まだまだ自分にできないことが多く、考えが及んでいないと反省しきりですが、参加者の方々の障害学生支援に対する姿勢と思いに後押しされ、また頑張ろうと思えました。
21	満足	情報交換のみならず、自らの知見を深めること、毎回のことですが、最前線で業務に従事されている方と関係構築させていただいたことです。企画、運営面でのご苦勞をお察ししますが、本当に感謝しております。
22	満足	横のつながりが広まった。
23	満足	みなさんが、前向きに取り組まれている雰囲気が感じられてパワーをいただきました。
24	満足	懇談の様子もとても活発で、様々な報告や意見が参考になりました。
25	満足	実務者同士の交流がよかった
26	満足	懇談会の名の通り、とても話しやすい雰囲気で良かったです。
27	満足	学生支援の最新の情報から、同規模大の現状まで幅広く知ることが出来ました。また、他大学との繋がりを持ってました。
28	満足	他大学の取り組みや状況を肌で感じる機会となり、大変刺激を受けました。企画や準備等、ご尽力いただきありがとうございました。

No	回答	記述
----	----	----

7-4 他者への推奨

	選択肢	人数	%
1	推奨したい	40	97.6
2	やや推奨したい	1	2.4
3	どちらでもない	0	0.0
4	あまり推奨したくない	0	0.0
5	推奨したくない	0	0.0
6	やや推奨したい	0	0.0
	合計	41	100.0



8. 今後、懇談会で取り上げてほしいテーマ、内容等があればご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	内容
1	オンライン授業について
2	SLDの学生の支援についての情報交換
3	実際に支援を受けている障害学生に来ていただいてお話を聞いてみたいです。
4	「支援者側の危機管理」、ピンポイントの話題で「連絡のつかない学生への対応」
5	社会モデルを大学全体に浸透させていくことについて
6	●紛争や裁判になった事例について聞く機会があればありがたい。 大学の教職員は、どこまでをやったらいいか考えているため、何をしたらだめなのかについて、高等教育の合理的配慮に詳しい弁護士の先生から法的に知る機会があるといい。その際、建設的対話が大切だという点は、何度も研修会で聞くので理解はできるが、抽象的なポイントではなく、実例や仮想事例でもいいので、具体的に学びたい。
7	大学等で障がい学生をサポートする学生スタッフ（ピアサポーター）として活動されている現役の学生さんのお話を聞いてみたいです。学生どうしという立場での「現場」の声を傾聴することは、極めて重要であると思っているからです。 障害のある大学院生や外国人留学生などへの合理的配慮の提供に関するテーマ等も、とても興味深いです。
8	合理的配慮が法的義務となった後・・・起こった問題、課題、解決策など
9	重度訪問介護利用者の大学等修学支援事業の是非について
10	障害学生支援に取り組む学生サポーターの育成方法や学内行事などへの取り組みなど。
11	専門職（看護師等）の発達障害学生の就職支援
12	合理的配慮と授業の質保証について
13	合理的配慮としてのオンライン授業対応について（話題提供として実態と事例紹介でもよい）
14	対応事例（困難事例）紹介
15	「義務化」後の課題や対応上の問題点など、フォローアップにつながる企画があれば有難いです。
16	上層部へのアプローチの仕方。学生アルバイト制度の獲得のための方法。学生のメンタルヘルス対策
17	名古屋大学における障害学生に対する就労支援の取組実践を聞いてみたいです
18	精神・発達障害学生の支援
19	今後も、分科会「小規模大学における障がい学生支援」を継続していただきたいです。

9. 懇談会の改善点があればご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	内容
1	今回基礎編で分科会Bに参加させていただき、とても満足しています。申し込みの時点では、前回は分科会が基礎編だったため、同じ基礎編に申し込んでよいものかどうか迷いました。可能でしたら、基礎編（1～2年目の方も参加していただけます。）など、参加の指標となるものをご提示いただくと助かります。
2	せっかくの場なので、1日開催で分科会も2つなどより濃い懇談会になるとより充実していいなと思いました。
3	これぐらいの規模で、委員の方の負担にならないように開催していただければと思います。
4	人数の大きな分科会の中止（より小さい人数制の適用）
5	現在の雰囲気心地よく感じております
6	6名ぐらいが一番発言しやすいのでは…
7	グループ討議の際、個人相談ようになっていたので、満遍なく意見を出せるようファシリテートいただくとありがたいです。
8	分科会の時間が長いので、もう少し短くても良いと思いました。

10. その他、懇談会へのご意見・要望等があればご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	内容
1	このような貴重な機会を企画・実施くださりましてありがとうございます。 分科会については、何度か参加することで他大学様に自身の名前や情報を覚えていただき、知識・経験不足を痛感しながらも、大変いい刺激になっております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。
2	他大学のコーディネーターさんと交流できるので、また是非機会があれば参加したいと思います。開催いただき、ありがとうございました。